



もねっとくん

しゃきよう 守恒

| | |
|--------|----------|
| 校区世帯数 | 3, 172 |
| 町内会数 | 20 |
| 町内組数 | 192 |
| 校区内総人口 | 約11, 550 |

発行者
守恒校区社会福祉協議会
<http://www.moritsune.org>



年頭のことば

さらさら進化する守恒

守恒校区社会福祉協議会

会長 笹月 一男

「地方創生」という言葉を、度々耳にする。大分県に80代の女性高齢者の二世帯一人になった過疎集落がある。この集落には、集落全員で支えてきた社があったが、女性はお一人一人になっても、誰が来ても恥ずかしくないように掃除を続けていると話してくれた。この話題は……この集落がある地域を対象に10年間隔で意識変化を研究している九大大学院教授のコラムである。人は減り、商店は店をたたみ、買い物をする場もない。アンケートで「いま住んでいる地域が好きですか」という設問で8割を超える人が地域に愛着を持ち、しかも、その割合は増えているという。そこに暮らすことに手応えを実感できる地域をどのように創っていくのか。もう一つの地方創生論が必要だと考える。……と結ばれている。

平成30年を顧みますと、今年の「文字で表す漢字は「災」(わざわい)でした。

7月には、西日本豪雨九州と中国など8府県に大雨特別警報。死者220人、平成最悪の豪雨災害になりました。9月6日北海道で最大震度7の地震、土砂崩れが起こり、道内大規模停電が起きました。平成の時代は、戦争こそ起きませんが、災害の平成でありました。

ここで、**守恒校区の二年を顧みますと**

① 守恒小学校南門入り口 学童保育クラブがあります(と小学校前交差点を見晴らす小学校入り口。この二か所に、JA福岡県本部から寄贈された「防犯カメラ」を設置致しました。

② 地域づくりネットワーク福岡県協議会」から表彰されました。

③ 久留米市津福校区社会福祉協議会が守恒校区を研修訪問。高齢者支援等、校区運営について交流を致しました。

④ 夏祭りもりつね」のステージ幕が守恒中学校美術部のデザインで製作披露できました。

⑤ 守恒小学校の大規模改造の設計が新年度から始まり、再来年度から工事が始まります。

⑥ イオン跡地には、今年暮れごろには、サンリブの「マルシヨク新守恒店」が新築開店の予定。更に、大英産業(株)が「ザ・サンパークシティ守恒」の名称で、200戸規模の分譲マンションが、2020年には完成、分譲される予定があります。

守恒校区が創設され44年になるうとしていますが、高齢化率がやや下がるのではないかと思われます。……が、一方、守恒小学校が更に、マシモス化し、市が考えている大規模改造で良いのか、また、守恒学童保育クラブの入所者が定員を超えてきています。このままだと大きな課題になりそうです。

結びに
私が常に考えている校区づくりは、安全・安心が担保され、誰もが住みたくなる、まちづくりです。楽しい校区であることです。

防災訓練



*防災のお話
ちびっこ達もお話を聞きました



*認知症のお勉強

何か、お困りですか?

守恒SOS大作戦 2月2日(土)

豆まき・搜索模擬訓練



*それぞれの班に分かれて出発
高齢者宅で豆まき。
その後、徘徊者を搜索しました。

節分・豆まき



鬼はーそと!
福はーうち!

*センターに戻り
無病息災を願って... 皆で豆まき

新春のつどい

1月5日(土)に「新春のつどい」が守恒市民センターで行われ、地域のボランティア等関係者、約150人が参加しました。

また、このつどいの中で、山内恵さんが校区に貢献されたとして表彰されました。

また、馬養三千子さんが民生委員を永年にわたり務められ、『瑞宝単光章』を授与されたことを披露しました。



「守恒のちから」が集結!!

みんなの広場

29 < > リリー寄稿

地域に支えられて咲く ありがとうの花

星和台幼稚園 主任 成定 澤

春の光が照っている。うれしい今日の「卒園」。

園内には卒園に向けて自信に満ち溢れた子ども達の歌声が響いています。その後ろ姿にランドセルを重ね合わせた時、温かなまなざしで見守って下さる地域の皆様の姿が浮かびます。地域でのイベント参加は園行事の一部となっています。夏祭りではステージに向かう子ども達を抱き上げ、偉かったよ頑張ったね。」と頭を撫でて頂き、市民センターでの異年齢交流では「愛らしいね。」とまだたどたどしい子ども達のお話に笑顔で頷き聞いて下さいました。運動会が雨で順延になった折は各団体の皆様から、先生大変だね。心配せんでいいよ。」と温かな言葉をかけて下さいました。

昨年度より回数を増やし開催させて頂いた「子どもまんなかニッソリ講座」。悩み戸惑い多き子育て世代の皆様、そして遊びたくてウズウズしている子ども達を真ん中に、年齢や立場を定めずお集まり頂いています。何事も寛大に好きな事をさせて頂いたことに感謝しています。

ただただ「楽しかった。」が聞ければ、ハッピーなスタッフに支えられ時間を過ごさせて頂きました。先生お願いがあるんだけど。」とのお誘いに本当はわくわくが止まらないお祭り人間ですが、心落ち着かせて真面目に参加させて頂いていますよ(笑) おこえかけを心待ちに、また皆様と一緒出来ることを楽しみにしています。

せんせい!おはよう。プレゼントだよ。」

寒い寒いと手を重ね合わせていた子ども達の手のひらに、可愛いお花。風は冷たいけれど春がきましたね。多くの皆様に支えられて育てられ、園も子ども達も私も、ここ守恒の地に伸びやかに笑顔で咲かせて頂いています。地域の端っこから、まだまだ微力ながらの地域活動へ張り切って参加して「ありがとうの花」をブーケにしてお届けできたらと思います。

4月には満開の桜のトンネルをくぐり、新入園児がそして新年生が新しい一歩を踏み出します。温かなご声援を宜しくお願い致します。

